

プロトンポンプ阻害薬に関する院内フォーミュラリ導入効果と
関連する臨床アウトカムの評価；分割時系列分析

◆研究の目的と概要◆

当院は、質が高くより安全な医療を提供することを使命としています。その中の一つとして、薬剤部では有効性および安全性に加え、経済性にも優れた質の高い薬物療法を提案すべく、診療部と共同で検討を行っています。

近年、国家的な方針により、先発医薬品と有効成分が同一かつ効果も同等でありながらも、より経済性に優れる医薬品として後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用が推奨されています。当院でも一部の医薬品について、有効性・安全性など基本的な医薬品情報を事前に評価した上で、後発医薬品の使用を推奨しています。具体的には2020年10月以降、「プロトンポンプ阻害薬」と呼ばれる胃酸の分泌を抑制する飲み薬について、当院での第一選択となる製剤を設定し、薬事委員会承認のもと推奨してきました（この方策をフォーミュラリと呼びます）。

今回の研究では、このフォーミュラリの導入に伴い、当院の入院患者さんに対して、どのような処方動向の変化が見られたか、また、その結果、患者さんに対する薬物療法の有効性や安全性もしっかりと担保されているかどうかを検証します。得られる結果から、今後、当院における薬物療法の質を更に改善していくことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2020年4月から、2021年5月までの間に、当院での入退院の情報があり、抗血小板薬または非ステロイド性解熱鎮痛薬を新規に開始された18歳以上の方（※経口プロトンポンプ阻害薬のフォーミュラリ導入効果を上記の患者さんのデータから検証します）

◆研究に使用される情報◆

性別、入院時年齢、身長、体重、主病名、合併症、既往歴、使用した薬剤の情報（当院のカルテに格納されている過去の情報を含む）、退院時転帰

◆研究方法◆

本研究では、過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、

以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、学会報告または論文による研究報告後にご連絡をいただいた場合には、情報利用不可のお申出に沿えない場合がありますので予めご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

臨床研究センター 研究責任者 石田 亮

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明